

耳鼻咽喉科

1) 後期研修の特徴

- 日本耳鼻咽喉科学会認定教育施設である。
- 卒後 6 年で日本耳鼻咽喉科学会専門医を修得することが可能である。
- 2 名の日本耳鼻咽喉科学会専門医の指導を受けられる。
- 耳鼻咽喉科としては地域の中核をなしており、耳鼻咽喉科的救急医療を含む豊富な症例を経験できる。
- 口腔外科や形成外科分野にオーバーラップする症例に対しては、各科で協力しながら手術に望める体制をとっている。

2) GIO

- 耳鼻咽喉科医として患者中心のチーム医療を実践するために、十分な知識・経験・判断力を身につける。

3) SBOs

- 患者・家族との適切なコミュニケーションが取れる。
- 指導医の指導の下に、耳鼻咽喉科疾患患者の最終診療責任者になることができる。
- 研修医の研修指導ができる。
- 外来診療、病棟受け持ち、手術が行える。
- 聴力検査、平衡機能検査、頭部 CT、MRI などの検査結果を理解し説明できる。
- 他科からのコンサルテーションに対し、適切に対応することができる。
- 患者に診断と治療法を説明し、今後の見込みについて理解させる。
- 鼻出血、めまいなど救急医療において対処方法がとれる。

4) Ls

- 患者の診療にあたり、多くの耳鼻咽喉科疾患の診療を経験し適切な診断ができるようになる。
- 助手や執刀医として手術に参加し耳鼻咽喉科領域の手術を十分に理解する。
- 顕微鏡を用いて耳内、さらに内視鏡を用いて鼻内、咽喉頭の観察、手技ができるようになる。
- 初期研修医の指導を行う。
- 各種カンファレンスに参加する。
- 学術活動

5) Ev

- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の申請書に準じて、経験症例・手技を記載し、到達度を確認する。
- カンファレンスや学会での発表で評価を受ける。

6) 大学医局との関連

- 当科は、関西医科大学耳鼻咽喉科教室の関連施設です。
- 希望により関西医科大学耳鼻咽喉科医局への入局可能です。

7) 将来の進路

- 武田病院グループの病院（当院を含む）の耳鼻咽喉科スタッフとして勤務できる。
- 希望により関西医科大学耳鼻咽喉科教室入局の上、学位の取得可能。
- 当院の日常勤務と平行しながらでも可能である。